

災害協定締結、有事に備え

病院に物資を供給

J A岐阜厚生連とバローHD

県厚生農業協同組合連合会 (JA岐阜厚生連) とバローHDは10日、大規模災害時



協定書を交わした谷口直樹代表理事(右)と篠花明常務(左)は、可児市大森、バロー人材開発センターで。

の病院への物資供給に関する協定を結んだ。JA岐阜厚生連が企業と災害協定を結ぶのは初めて。

JA岐阜厚生連は7病院を運営し、うち3病院は災害発生時に医療で中心的な役割を果たす災害拠点病院に指定されている。協定では、大規模な地震や風水害、感染症のパンデミック(世界的大流行)の際、JA岐阜厚生連からバローHDに要請があれば、石油燃料や食料、飲料、医薬品などを病院に供給する。JA岐阜厚生連から協定を申し出た。可児市大森のバロー人材開発センターで締結式があり、JA岐阜厚生連の谷口

直樹代表理事とバローHDの篠花明常務が協定書に署名した。谷口理事長は「物資の不足を懸念することなく、災害への活動に

専念できるため心強い」、篠花常務は「店舗拡大に伴って地域貢献が必要。社会貢献につなげたい」と話した。(松浦健司)